

14 山地集団肉用育成牛の発育と繁殖性

1 背景と特徴

肉用牛について、明2才で繁殖供用することの可否が論ぜられ、確固とした指針が示されな
いままでいるが、山地集団肉用育成牛を供用した明2才のまき牛による繁殖成績、およびその
後の繁殖性、発育について以下の成績を得たので指導上の参考に供する。

2 技術内容

- 1) N種明3才 分娩牛の4才時の連産率は80.6%と高く、5才時にも休産しない。
- 2) 明3才分娩牛はN・B種とも30カ月令(産子約6カ月令)時点では不妊牛に比べ発育
が劣るが、42カ月令ではほとんど差がなくなっている。
- 3) 明3才産子の発育は離乳時体重(210日補正值)で4才以上産子に比べ劣る傾向がうか
がえる。
- 4) B種について、明4才初産子牛と同2産子牛の発育は、離乳時体重で前者の優れる傾向
がうかがえる。
- 5) H種について明2才種付は、受胎率、難産等からみて、みあわせることが望ましい。

⊕ N日本短角種 B黒毛和種 Hヘレホード種

3 指導上の留意点

当該成績は、放牧を主とした山地集団肉用育成牛を供用したものであり、舎飼育成牛等に適
用する場合、発育、管理形態のちがい等を考慮することが必要である。

4 試験成績の概要

- 1) 試験課題名 山地における肉用牛の集団育成技術
- 2) 試験年次および場所 昭和48～52年 岩手畜試外山分場
- 3) 試験方法
 - (1) 供試牛 N種39頭(48年産子19頭、49年産子20頭)
B種36頭(18頭、18頭)
H種21頭(11頭、10頭)

(2) 飼養形態

放牧：5月上中旬～11月下旬、野草牧草組合せ放牧

舎飼：11月下旬～5月上中旬

飼料給与量（cf 1頭 25 kg/日、Hoy 2 kg）

(3) まき牛期間 70日（5月下旬～8月上旬）

4) 試験結果

(1) 初発情の出現週令は集団管理における確認範囲でN種 42.4、B種 44.1、H種 66.8であり、H種の遅れが目立つ。

(2) 明2才の受胎率はN種 79.6%、B種 55.6%、H種 16.7%であり、また15カ月令（平均受胎月令）時の発育は受胎牛群の優れる傾向がうかがえる。（H種、体重、体高は5%水準で有意差あり）。

(3) 明3才の助産率はN種 41.9%（13頭）、B種 45.0%（9）、H種 100%（3）でH種が高く、うち1頭は難産で死亡している。

(4) B種明4才初産子牛と同2産子牛の離乳時体重はそれぞれ 191.4 kg、170.0 kgと前者の優れる傾向がみられるが、N、H種については例数が少なく、明らかでない。

5) 主要成果の具体的データ

表-1 明3才分娩牛の遡産性

品 種	明3才分娩状況			明4才分娩（同予定）状況			明5才分娩予定	
	区 分	頭 数	率	区 分	頭 数	率	頭 数	率
N	分 娩	31	79.5	分 娩	25	80.6	14	100.0
				不 妊	6	19.4	3	100.0
	不 妊	8	20.5	分 娩	8	100.0	2	100.0
				不 妊	0	0	0	—
B	分 娩	20	55.6	分 娩	12 (7)	60.0 (70.0)	(5)	(71.4)
				不 妊	8 (3)	40.0 (30.0)	(3)	(100.0)
	不 妊	16	44.4	分 娩	12 (6)	75.0 (85.7)	(3)	(50.0)
				不 妊	4 (1)	25.0 (14.3)	(1)	(100.0)
H	分 娩	3	16.7	分 娩	2	100.0	0	—
				不 妊	0	—	0	—
	不 妊	18	83.3	分 娩	15	83.3	5	100.0
				不 妊	3	16.7	1	100.0

注) B種()内数値はまき牛期間40日の成績

表一 2 明 2 才受胎の有無と発育 (kg)

品 種	区 分	頭 数	受胎率	離乳時(210日)		150月令		300月令		42ヵ月令		
				体 重	体 高	体 重	体 高	体 重	体 高	頭 数	体 重	体 高
N	受胎	31	79.4	195.2	99.2	299.3	115.9	403.4	124.4	17	463.9	127.9
	不受胎	8		182.3	99.6	279.2	114.9	449.2	125.6	2	456.5	129.2
	差			2.9	60.4	20.1	1.0	*** △45.8	△1.2		7.5	△1.3
B	受胎	20	55.6	165.0	96.6	257.4	112.0	355.9	119.6	10	389.9	122.1
	不受胎	16		154.5	95.6	250.5	109.8	388.1	120.4	8	390.8	122.1
	差			10.5	1.0	6.9	2.2	*** △32.2	△0.8		△0.9	0
H	受胎	3	16.7	171.4	88.8	278.1	104.7					
	不受胎	18		150.4	87.4	243.6 ※	100.9 ※	416.7	113.9	7	432.5	115.7
	差			21.0	1.4	34.5	3.8					

表一 3 明 3 才、明 4 才以上分娩子牛の発育 (kg)

品 種	頭 数		生 時 体 重			離 乳 時 体 重			D · G		
	3才	4才以上	3才	4才以上	差	3才	4才以上	差	3才	4才以上	差
N	27	71	36.5	37.9	1.4	181.7	202.1	*** 20.4	0.692	0.782	*** 0.090
B	15	73	30.5	30.8	0.3	161.8	175.0	※ 13.2	0.625	0.687	※ 0.062

6) 残された問題点

明3才分娩牛、同不妊牛の生涯生産性の比較検討

5 参考資料

岩手県畜産試験場試験成績報告書 48、49、50、51年